



今回は裁判員等経験者5名の方にご参加いただきました！

静岡地方裁判所浜松支部

令和7年3月13日 裁判官・検察官・弁護士と 裁判員等経験者との 意見交換会 を開催しました

裁判官がとても丁寧にわかりやすく説明してくれたため、緊張せずに素の自分で臨むことができた。他の裁判員の方とは、和気あいあいと話すことができ、それぞれ意見は違うが、お互いの意見を尊重しながら話し合いを進めることができたため、ストレスではなく参加することができた。

全体的な感想

最初は「私にできるんだろうか」とか「面倒くさいな」という思いがあったが、最後には「来てよかった」「やってよかった」と思えた。話すことが苦手だったが、裁判官がとても話しやすい雰囲気を作ってくれ、意見を言ったり、法廷で質問したりすることができ、参加してよかったと感じている。

最初は、ドラマの世界にいたような不思議な感じを受けたが、証言などを聞き、自分の身に置き換えて考えてみるようになった。最終的には裁判員の仕事を楽しく終えられた。普段の生活では関わる世界だったが、実際に参加してみても、社会に役立つ前向きな仕事ができたとと思う。

みんな
始めは不安に
思っているんだな～



法廷で話を聞く場面では、検察官、弁護士、被告人や証人などそれぞれが言っていることが違うため、頭の中でそれらを整理することが難しかった。その後の評議で、裁判官や他の裁判員と話し合いを重ねていく中で少しずつ整理されていった。

審理・評議 について



法廷で、被告人や証人に質問する場面では、実際に自分も質問をした。とても緊張したが、実際に質問して答えが返ってきた時、その答えから感じ取れるものがあった。また、説明時にモニターに画像や図と一緒に映し出されて、わかりやすかった。

裁判員の中にも色々な考え方がいたが、評議はみんなが自分の意見を言える形で進み、裁判長も量刑の決め方に関する考え方について、わかりやすく説明してくれたので、最終的にみんな納得した結論を出すことができた。

裁判員を経験する前は、法律の世界はとても堅いもので、裁判官も堅い人たちばかりだと思っていたが、評議でオーケストラの指揮者のように裁判員のいろいろな意見をまとめる裁判長の姿を見て、実際にはそうではないということを知ることができた。

冒頭陳述では、
事件発生前後の説明が
長く、聞いていて疲れてしまっ
た。そのため、もう少し判断す
るポイントに重点を置いた、メ
リハリのある冒頭陳述であれ
ば、その後の判断もしや
すいと感じた。

「裁判員制度」
という言葉をわざわざ検索
する人はなかなかいないので、
裁判所の方から宣伝しなければ
ならないと思う。具体的には、
テレビでの制度の特集や、SNS
などを活用した積極的な
広報が必要である
と思う。

特別休暇が取
れたから良かったが、もし
取れなかった場合には、辞退
していたかもしれない。参加率
を上げるためには、企業の理解
が不可欠であると思う。そのた
め、企業に対し、意見交換会
のことも含め、もっと広報し
た方が良いと思う。

今後の裁判員制度の 運用改善について

冒頭陳述など
の主張書面の一枚一枚
に文字が多く、メモなどを取る
余白がなかったため、法廷で話
を聞きながら自分の中で整理
することが難しかった。もう少し
余白を入れたり、要点を押さ
えて文字を少なくするなど、
工夫があると良い。

裁判員に選ばれ
たらどのようなことをするのか
ということを知らない人が多く、
一般の人が持っている情報は
少ないと思うので、裁判官の出
前講座などで情報提供してくれ
る場がもっとあれば、興味を持
ってくれる人も増えるので
はないか。

裁判員制度への参加率 を上げるためには

最初は、自分も裁判
所や裁判員裁判につい
て情報が少なかったので、今
回のように、実際の経験者の話
を聞いて、多くの人に伝えていくこ
とは大事なことであると思う。裁判員
をやってみて、大変なこともあつた
が、とてもいい経験ができたの
で、ぜひ多くの方に経験
していただきたい。

裁判はドラマの中
でしか見たことがなかつ
たが、実際、法廷で被告人や
証人の表情を見たり話を聞
いたりすることで、初めて発言
者の感情などを感じ取るこ
とができた。ぜひ皆さんにも
裁判員を経験して
ほしい。

ご参加くださった皆さん
ありがとうございました！

すごく良い経験
なので、もし選ばれたら、
ぜひやっていただきたいと思う。
日頃、裁判官と会って話す機会
はないため、実際に接してみ
て、こういう人たちが1つ1つの事
件を担当しているんだと、
とても良い印象を
持った。

これから裁判員に なれる方へ

参加してよかったと
思っている。裁判員を経験
したことでニュースの背景まで
見るようになったし、子どもも法律
に興味を持ち、子ども向けの法律の
本と一緒に見るようになった。自分
は法律というルールの中で生活し
ているということを、改めて
認識するようになった。

